

まちづくり交付金 事後評価シート  
小田原駅周辺地区

平成20年12月

神奈川県小田原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	小田原市	地区名	小田原駅周辺地区		面積	224ha				
交付期間	平成16年度～20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	5,561百万円	国費率	0.37				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(栄町小八幡線整備事業、小田原駅西口東町線整備事業、市道0001整備事業)、地域生活基盤施設(小田原地下街再整備事業)、高質空間形成施設(小田原城周辺環境整備事業、公共サイン整備事業)、高次都市施設(仮称)城下町ホール整備事業)										
		提案事業	地域創造支援事業(駅ビル昇降設備延伸事業、アメニティデザイン推進事業、景観形成地区修景支援事業、(仮称)城下町ホール整備事業)、まちづくり活動推進事業(空き店舗活用事業、街かど博物館整備事業、歴史・文化資産活用交流事業、小田原TMO支援事業、観光交流支援事業、市民まちづくり活動支援事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(公共駐車場整備事業、公共駐輪場整備事業) 高質空間形成施設(電線類地中化) 高質空間形成施設(景観形成地区等修景事業) 高次都市施設(人工地盤延伸事業) 高次都市施設(コンベンション施設整備事業)			削除/追加の理由			地域生活基盤施設(公共駐車場整備事業、公共駐輪場整備事業):計画期間内の事業完了が困難となり、関連事業へ移管したため。 高質空間形成施設(電線類地中化):他の国庫補助メニュー活用し、関連事業へ位置付けたため。 景観形成地区等修景事業(高質空間形成施設):歩道整備に合わせて道路事業にて実施することとしたため。 高次都市施設(人工地盤延伸事業):お城通り再開発事業の見直し等により事業を行わないこととなったため。 高次都市施設(コンベンション施設整備事業):お城通り再開発事業の見直し等のため。				
		提案事業	なし			なし			影響なし				
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道2186整備事業)			歩道の 신설及び車道拡幅によるボトルネック解消を図り、都市機能の向上を図る。			影響なし				
		提案事業	地域創造支援事業(商店街共同施設設置事業)、まちづくり活動推進事業(街なかにごわい創出事業)、事業活用調査(まちづくり交付金事業効果分析事業)			地域創造支援事業(商店街共同施設設置事業):中心市街地の商店街の利便性・快適性向上のため まちづくり活動推進事業(街なかにごわい創出事業):中心市街地の集客効果を高めるため 事業活用調査(まちづくり交付金事業効果分析事業):まちづくり交付金の事業効果データ分析のため			影響なし				
交付期間の変更	当初	平成16年度～20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	平成 年度～ 年度											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み		(総合所見)	予定時期	
	指標1	中心市街地流動客数	人/日	134,710	H15	145,000	H20		160,139	○	あり なし	駅周辺の利便性の向上のほか、小田原城を中心としたイベントの充実により流動客数増が図られた。	H22年6月頃
	指標2	中心市街地における入込観光客数	人/年	2,505,724	H15	2,600,000	H20		3,127,411	○	あり なし	小田原城を中心としたイベントの充実のほか、地域文化の発信を積極的に行った結果が観光客増へつながった。	H22年9月頃
指標3	市民満足度調査における満足度	%	16.9	H14	50.0	H20		21.2	×	あり なし	(仮称)城下町ホール整備事業及びお城通り地区再開発事業の施工期間の変更による影響のほか、さらなる整備が必要だった。	H22年6月頃	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み		(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	おだわら市民活動サポートセンターの利用者数	人/年	16,339	H15				18,160			イベント事業実施や小田原城址公園の整備、景観形成などの事業が、市民活動の意欲向上につながり、指標の達成につながった。	H21年5月頃
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況													
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-						
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-						
	持続的なまちづくり体制の構築	観光交流支援事業(まちづくり活動支援、観光ボランティア育成の事業委託)、市民まちづくり活動支援事業(まちづくり活動・住民活動団体への支援)	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● まちづくり交付金による位置付けが終了しても持続的なまちづくり体制の可能性について検証する。						

## 様式2-2 地区の概要

### 小田原駅地区(神奈川県小田原市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
小田原らしさの再生と創造により、人々の多様で活発な交流を促進する。 ○交流の拠点づくり ①広域交流拠点としてふさわしい都市機能の強化 ②文化交流を促進する施設整備 ③歴史都市として表情づくり ○美しいまちなみや魅力ある回遊空間の創出 ○小田原の歴史・伝統・文化が育んできた街の風情やあじわいの再生	中心市街地流動客数	単位:人/日	134,710 H15	145,000 H20	160,139 H20
	中心市街地における入込観光客数	単位:人/年	2,505,724 H15	2,600,000 H20	3,127,411 H20
	市民満足度調査における満足度	単位:%	16.9 H14	50.0 H20	21.2 H20
		単位:	H	H	H
	単位:	H	H	H	

市道0001整備事業(道路)

銅門番番事業/観光交流支援事業  
(まちづくり活動推進事業)

小田原TMO支援事業  
(まちづくり活動推進事業)

都市計画道路  
栄町小八幡線線整備事業(道路)

駅ビル昇降施設延伸事業  
(地域創造支援事業)

高校生チャレンジショップ/空き店舗活用  
事業(まちづくり活動推進事業)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘導サインや観光施設案内板の整備、小田原城址公園の高質化など観光拠点の整備の充実により来訪者が増加した。</li> <li>駅周辺の道路や、駅ビル昇降施設の設置、自由通路・ペDESTリアンデッキの整備、駅ビル・地下街のバリアフリー化により、駅周辺の利便性が向上した。</li> <li>駅周辺地区へ向かうルートがつながり、道路の拡幅整備など、駅周辺道路の利便性が向上した。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民と観光客が交流し、まちの魅力を向上させるイベント・観光施設のPRの強化を図る。</li> <li>駅周辺へのアクセス向上を図る。</li> <li>歩行者と自動車が共存できるような道路整備を促進する。</li> <li>住民活動支援をさらに進める。</li> <li>定住人口の増加を図るための集合住宅など建物の共同化や景観形成について住民の理解を深める。</li> <li>文化交流促進施設となる(仮称)城下町ホールの整備のほか広域交流拠点となるお城通り地区市街地再開発事業を早急に実施し、駅周辺整備を進める。</li> <li>利便性が向上した地下街を効果的に活用し活性化を図る。</li> </ul>